

ひろしまの 土地改良



第15回ひろしまの農村フォトコンテスト 最優秀賞
「田植ひかえし水鏡」 秋富 愛毅（撮影場所：安芸太田町）

●第39回全国土地改良大会石川大会 開催

第39回全国土地改良大会石川大会が平成28年10月25日（火）13時から、金沢市いしかわ総合スポーツセンターで開催されました。大会テーマ「水土里の明日を築く土地改良 今こそ未来へつなぐ」の下、全国から約4,300名の農業農村整備事業関係者が参集し、「農業・農村の重要性」と、それを支える「農業農村整備事業の役割」を広くアピールしました。国民へ農業農村の大切さについて理解を深める啓発活動を継続しつつ、自らも地域資源を幅広く最大限に有効活用し組織強化を図り、農村地域の活性化を目指すとの大会宣言を採択しました。

大会式典中に行われた平成28年度全国土地改良事業功績者表彰では、全国土地改良事業団体連合会長表彰に東広島市土地改良区の小池智慧登理事長が受賞されました。



東広島市土地改良区 小池智慧登理事長

新年のごあいさつ



みどり
水土里ネットひろしま
広島県土地改良事業団体連合会
会長 蔵 田 義 雄

明けましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様には、日頃より農業農村整備事業の円滑な推進、並びに本会の運営につきまして、格別なご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

去年は、広島カープ25年振りのリーグ優勝に広島県の街が歓喜に満ち溢れ、カープとのコラボが積極的に図られ、お米や日本酒など特産品への工夫が発揮されるなど、地域活性に湧いた年でした。

さて、昨年閣議決定された「新たな土地改良長期計画」に於いても、農業農村への期待を「競争力・活力・強さ」の創出と掲げ、さらなる高収益作物への転換や6次産業化等による所得の増加への取り組みを中心に、地域資源の保安全管理の向上や、施設の機能強化へ取り組む方向性が示されました。

農業・農村は、安全・安心な食料を安定的に供給し、豊かな自然環境や、美しい景観等の農村環境資源、伝統行事、食文化の継承に重要な役割を有しており、農村に暮らす人々の持続的な活動により成り立っております。こうした多面的機能の役割が充分に発揮されるよう、本会では農業生産基盤の整備と併せ、農村の生活環境向上の一助となる農業・農村整備事業を積極的に推進して参ります。

担い手の育成、農地集積や農業の生産性向上に向け、農業資源を有効的に活用し、農地や農業用施設を適切に維持管理することが必要とされています。農地の保全や農業用水利施設の長寿命化や機能強化に向けた対策、農村地域の環境保全対策、また新たな役割を迎えた土地改良区の運営基盤強化について、支援・協力して参る所存でございます。

本会が果たすべき新たな使命・役割と責任を担い、役職員一丸となって農業の持続的発展と農村の振興に取り組んで参ります。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平成二十九年元旦	監事	監事	代表監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	会長
	小池	吉田	小坂	小村	高田	奥田	平谷	増田	箕野	浜田	吉田	眞野	下垣	木山
他職員一同	智慧登	基	眞治	和年	幸典	正和	祐宏	和俊	博司	一義	隆行	勝弘	雅史	耕三

広島県土地改良事業
団体連合会
(水土里ネットひろしま)

新年のごあいさつ



広島県農林水産局長
うえ なか たか まさ
 上 仲 孝 昌

明けましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様には、平素から本県の農業・農村の振興に多大な御貢献を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県では「2020広島県農林水産業チャレンジプラン アクションプログラム」に基づき、「産業として自立できる農林水産業の確立」を最も重要な目標と位置づけ、現在様々な取組を進めております。

農業分野においては、平成27年度から平成29年度の3年間を集中期間として、キャベツやレモン団地の整備、生産体制の確立、新たな人材育成によるトマト産地の拡大に向け、重点地区を選定し、推進しております。

特にキャベツにつきましては、16億円産地計画の実現に向け、大規模農業団地整備を県内各地で展開しております。

また、今年度から意欲ある生産者の可能性を最大限に引き出すため、「ひろしま農業創生事業」を創設し、JAグループ等と一体となって、ひろしま型の農業を創り出す新たな担い手育成に取り組んでおります。

具体的には、ほうれんそうやアスパラ等の重点品目における主要な産地を強化するため、実践型研修拠点の整備により、産地の担い手育成システムを構築するとともに、担い手への農地集積や生産施設整備を促進する新たなリース事業の導入などを一体的に支援することにより、青年経営者の確保・育成や担い手の経営発展、園芸産地等の拡大を加速してまいります。

このような取組において、農業生産基盤整備は引き続き重要な役割を担うものと考えております。皆様におかれましても、土地改良事業の推進を通じて、本県の農業・農村の発展に一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様のますますの御発展と御健勝、御多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

平成29年1月



～農業農村整備の集い―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～

平成28年11月28日、全国土地改良事業団体連合会は、平成29年度農業農村整備事業関係当初予算の安定的な確保に向け「農業農村整備の集い」を開催しました。全国から約1,100名の土地改良事業関係者が参集し、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長が「補正予算で1,752億円を確保できたが、今後事業の計画的な実施に因應するため、平成29年度の当初予算の確保に向けて一致団結して取り組んでいきたい。」と挨拶されました。

中国四国管内農業農村整備事業推進協議会事業推進要請活動

平成28年11月29日、中国四国管内農業農村整備事業推進協議会の代表が、中国四国地域の農業農村の活性化のために、財務省、農林水産省へ要請活動を行い、財務省においては三木政務官に対し平成29年度農業農村整備事業関係予算の確保と5つの提案を行いました。

【提案事項】中国四国管内農業農村整備事業推進協議会

1. 中国四国各地域の農業農村整備に必要な財源の確保について
2. 多面的機能支払交付金の予算確保について
3. 農地耕作条件改善事業等の予算確保について
4. 農山漁村地域整備交付金の予算確保と制度拡充について
5. 土地改良区体制強化事業の支援拡大と土地改良施設維持管理適正化事業の実施要件の見直しについて



三木政務官へ要請活動

―土地改良区役職員研修会を開催―

11月24日(木)広島県土地改良会館に於いて、「平成28年度土地改良区役職員研修会」を本会主催で開催し、県内土地改良区役職員や県市町の指導担当者ら56名が受講しました。本研修会は、土地改良区の運営基盤を強化することを目的に毎年開催するもので、広島県農業基盤課から八尋参事による「自立できる農業を支える農業基盤整備」をはじめ、中国四国農政局伊藤土地改良指導官の「土地改良区の役員の役割と責任、土地改良区に関する法律改正」、三次市土地改良区箕田理事長理事からは「償還金滞納整理に向けた取り組み」として滞納処分に至るまでの道程、また同土地改良区の高家事務局長からは「相続と滞納処分」について滞納処分の事務手続きと併せ、相続実務における苦勞などをお話し頂きました。受講者は熱心に耳を傾け、持ち帰り理事・役員に伝達したいと好評を頂きました。

お問い合わせ先 換地測量支援課 ☎082-502-7477



受講の様子



三次市土地改良区 箕田理事長理事(左)
三次市土地改良区 高家事務局長(上)

農地・水・環境 NEWS

広島県農地・水・農村環境保全協議会

●多面的機能支払交付金事例研究会

農林水産省主催の平成28年度 多面的機能支払交付金事例研究会が、11月1日(火)、東京都文京区弥生講堂一条ホールに於いて開催され、広島県から高屋広域協定運営委員会の^{うねけいいちろう}敬一郎会長が「活動組織の広域化」をテーマに事例発表されました。7組織の合併で広域化を図ることになった経緯や、取り掛かりの手順、意志統一に向けての意見の掌握、組織間の活動内容や事務処理の情報共有などの工夫について話されました。



熱弁を振るわれる敬会長

●「あかや共同活動隊」が中国四国農政局長表彰 優秀賞に決定しました

平成28年度 多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰 優秀賞を「あかや共同活動隊」が受賞しました。世羅郡世羅町の東部、豊かな自然と穏やかな気候や風土に恵まれ、農業に適した台地をかたどる山間地域です。多面的機能支払交付金(旧農地・水・環境保全向上対策)に平成19年度から取り組み、ホテルの生息する赤屋川の草刈りや泥上げ、あじさいの管理、食育教育の一環として保育所と連携したジャガイモの植え付けや大根の収穫体験など農業体験を通じた園児との交流、また中山間地域等直接支払集落協定と連携した鳥獣害防止対策に取り組んでいます。農事組合法人 アグリテックあかやを中心に地域が結束し、ゆるぎのない活動が評価されました。



水路の草刈り、泥上げ



大根の収穫体験



防護柵周辺の雑木伐採

第15回ひろしまの農村フォトコンテスト

●入賞作品決定！

第15回ひろしまの農村フォトコンテストの審査会が11月14日(月)に開かれ、応募総数191点から厳選な審査により入賞3作品、審査委員特別賞3作品が選出されました。併せて、農村の美しさ、明るさ、親しみやすさに溢れた広報委員会特別賞を15作品選出しています。

●ひろしまの農村フォトコンテスト表彰式を開催

第15回ひろしまの農村フォトコンテスト表彰式が12月12日(月)広島県土地改良会館内において開催されました。主催者を代表してひろしま農業農村整備広報委員会下垣会長より入賞者に、表彰状と副賞の授与、また大村委員、吉宗委員からは作品について、いずれも撮影者の構図の工夫、目の付け所に写真の奥深さが伺えると講評をいただきました。



作品を審査



最優秀賞の秋富さんを表彰



作品を手左手前より秋富さん、猪尻さん

こちら 21 創造運動事務局

水土里ネット祇園が「八木用水をたずねて」ウォーキングを開催

11月12日(土)、水土里ネット祇園町外二ヶ町主催による「八木用水をたずねて」のウォーキングが開催され、秋晴れのもと41名の参加者が、八木用水の歴史や、樋門、サイフォンなど農業用施設の役割のほか、防災や発電について学びました。最初に太田川河川事務所の方から砂防堰堤を案内していただき、一望を見渡せる景色のもとワイヤーネットや砂防の役割について伺いました。



砂防ダムからの眺め



砂防ダムの役割を伺いました



発電所の頂上を目指します



発電のしくみを教えていただきました

太田川発電所では、鉄管に沿って上部水槽まで上り、水の流路や発電について説明を受け、また地域の方からは治水碑「大禹謨」の、治水に苦勞した歴史や碑の伝来などを教えていただきました。八木用水めぐりを経て、普段見ることのできない景色やさまざまな団体の役割に触れ、参加者からは「新しい知識が増え、いい発見ができた。」との感想がありました。



樋門の説明は水土里ネット



大禹謨の話を資料を見ながら聞き入ります



記念写真

今年も開催！八木用水クリーン作戦

八木用水クリーン作戦が11月13日(原南学区、原学区、古市学区、緑井学区)、23日(梅林学区)に行われ、地域住民、ボランティア団体など総勢395人が参加し、水路清掃に汗を流しました。両日で草木など可燃ゴミ1,850キロ、不燃ごみ100キロ、資源ゴミ50キロが収集されました。



清掃前に注意事項を聞くボランティアの方々

ふるさとの田んぼと水子ども絵画展2016 入選・団体賞作品（広島県受賞分）

入 選

「ザリガニとハイチーズ！」
田辺 颯也
 (学校法人三光学園千鶴幼稚園)



「たんぼたのしかった」
三笠 心南
 (学校法人杉原学園松永幼稚園)



「みんなでスイカおいしいね」
高橋 疏衣奈
 (三光学園神辺千鶴幼稚園)




「みんなともだち」
福山市立多治米保育所
 (福山市立多治米保育所 共同作品)




「明神祭り」
新田 萌
 (山県安芸太田町立音河内小学校)



「静かな朝」
前原 温人
 (福山市立駅家西小学校)



「田んぼと水」
片山 仁希
 (福山市立川口小学校)



「おばあちゃんの大切な畑」
三浦 紫帆
 (福山市立川口小学校)



「クワイを植える自分」
田坂 颯都
 (福山市立新涯小学校)



「大きくなったねプトマト」
平櫛 圭悟
 (学校法人三光学園千鶴幼稚園)



「くわいの植えつけ」
西原 向日葵
 (福山市立新涯小学校)



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2016
 入賞・入選・団体賞が決定しました

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2016に全国から7,879点の作品が寄せられ、入賞23点、入選164点、団体賞42点が決定しました。広島県からは、入選11点、団体賞3点が選ばれました。

団体賞

水土里ネット祇園 八木用水賞
 「たんぼのいきもの」
伊藤 拓美
 (広島市立古市小学校)



水土里ネット福山 優秀賞
 「田植え」
井手之上 結愛
 (福山市立多治米保育所)



水土里ネット福山 くわい大賞
 「くわいを植えたよ」
下部 日花里
 (福山市立川口小学校)



第15回「ひろしまの農村フォトコンテスト」入賞作品



※最優秀賞は表紙に掲載

優秀賞



「仲間たち」 猪尻 美知枝



「挟めるかな」 小原 邦子

審査委員特別賞



「初夏の恵み」 秋月 静枝



「高原の休日」 木本 剛義



「面白いねー」 黒杭 昭夫

※入賞作品は、HPに掲載
しています。
<http://www.hdn.or.jp/>

広報委員会特別賞



「除虫菊に包まれて」 藤原 敏明



「大きなカボチャ」 石黒 一枝



「赤土の恵み」 別祖 一義



「夜明の棚田」 平本 元



「収穫」 手島 洋子



「お手伝い」 北恵 好照



「豊作を祈って」 三好 穂美



「日暮れまで」 源田 和彦



「月光に浮かぶ」 梶谷 浩



「お手伝い」 入江 孝美



「花田植」 大石 正臣



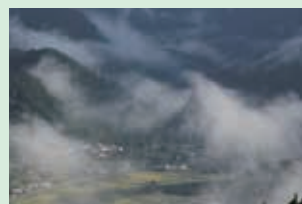
「田植え」 村上 泉



「飾り牛」 小林 八重子



「夕暮れ時」 西村 義雄



「雲沸く里山」 倉田 香代子

季刊ひろしまの土地改良 第248号

平成29年1月15日

編集：ひろしま農業農村整備広報委員会

発行：広島県土地改良事業団体連合会

印刷：佐々木印刷株式会社

〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館

◆TEL (082) 502-7470

◆FAX (082) 502-7480

◆<http://www.hdn.or.jp>